

今年は相当な収穫量を  
上げたたいよね  
苦労したもん

いがり ひろみち  
猪狩 弘道

株式会社富岡アグリファーム 取締役

昭和18年(1943)、富岡町生まれ。

富岡町の農家に生まれ、高校卒業後すぐに就農。震災まで家業として農業を営む。

震災後、福島第一原発の事故により6年間避難生活を送る。2017年の避難解除を機に農業法人立ち上げを決意して自宅も再建。4人の仲間とともに

「株式会社富岡アグリファーム」をスタートし、富岡町の農業再生を目指す。

農業は富岡町の基幹産業だけども、原発事故で全町民が避難して

誰も営農する人がいなくなりました。私自身も知人を頼って転々とし、いわきに新しい家を建てたりもしながら避難先で生活をしていましたが、6年かけてようやく避難指示解除されてね。多くの税金をかけて、あれだけの農地を除染して、それを見過ごすよりも農業法人立ち上げようと。それなら私もやりやすくて仲間がいたから。今なら大きな補助もあるから、それが終わる前にいろんなことをクリアして、雇用も生んで、若手に受け継ぐことができる農業をやろうと。

ちゃんと計画立てて、5年目にはしっかりと収入あげっぺと言って始まったわけです。昨年2回目の収穫だったけど、荒れ放題で地力が落ちていた農地だから、今は勉強だという感じでやってます。今年は相当な収穫量上げたいよね。苦労した分だけ報いのあるような農業経営をして、若い人に農業ってのは良くなって思ってもらえるようにしたい。黙って過ごしても人生、苦労して過ごしても人生。せっかくだから命ある限り、人のため、自分のためにやっぱりやりましようよと思っている。震災や原発事故の痛みは消えないけど、その厳しさを仲間と越えていきたいですね。



地域の神社「玉塚神社」も10年ぶりに再建。  
秋に行った社殿竣工祭では神楽も披露された